

教育  
総務課

## 東小学校がリニューアル 長寿命化改修工事が完了

東小学校校舎長寿命化改修事業の完成式典・見学会

令和6年8月から進めてきた「東小学校校舎長寿命化改修事業」が完了し、4月27日、同校体育館で完成式典を行いました。式典には、児童や教職員、工事関係者など約130人が出席し、新しく生まれ変わった校舎の完成を祝いました。

今回の改修では、劣化箇所の修繕に加え、照明のLED化やトイレの洋式化、エレベーターの設置、バリアフリー化などを実施し、教育環境の向上と施設の利便性向上を図りました。

式典では、児童代表の6年生・延近葉奈さんが、木の香りが広がる玄關など、新しくなった校舎の魅力を紹介。

また、工事期間中はチャイムが鳴らなかったため、自分で時間を確認して行動する習慣が身に付いたことにも触れ、「これからも自分たちの手で、もっとすぐきな学校にしていきたい」と、新しい校舎への思いを述べました。

式典後の見学会では、参加者が改修された教室や廊下などを見学し、工事内容について説明を受けました。

今後も、児童が安心して学び、快適に学校生活を送ることができるよう、教育環境の充実に努めます。



校舎を見学する参加者



児童代表挨拶をする延近さん



工事を終え新しくなった東小学校

政策  
企画課

## 広島広域都市圏に加入 広域連携でにぎわい創出へ

連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結



◀ 広島広域都市圏  
ホームページ




記念撮影を行う八谷市長(左)と松井市長(右)

本市は、広島市を中心に圏域の活性化を進める広島広域都市圏の連携協約を広島市と締結しました。本市が4月1日に加入したことで、広域都市圏は広島・山口・島根3県の34市町となりました。

広島市役所で行われた締結式で、松井一實市長は「まずは観光分野で連携したい。歴史や古民家を活用した観光周遊コースも企画できそうだ」と期待を述べ、また、八谷恭介市長は「人口減少が進む中、市単独の取り組みだけでは限界がある。関係人口の創出・拡大に向け、都市間の連携が重要になる」と話しました。

広島広域都市圏は、広島市中心部からおおむね60キロ圏内の市町で構成され、国の制度である「連携中枢都市圏」を活用しながら、圏域全体の経済成長や市民サービスの向上を目指しています。

世界へ羽ばたく産業機械、さく岩機メーカー

 ヤマトロックマシン株式会社

✔ 働く人と家族を大切に、未来をつくる会社です

✔ 安心を届ける会社で、一緒に働きませんか？

ACCESS



広島県庄原市東城町川西424-1

TEL 08477-2-2137

ヤマトロックマシン



広告